

高度医療技術開発室

室長 是恒之宏

室員 安部晴彦

近年における医療を取り巻く情報処理や画像処理の技術革新により、診断、治療における医用画像診断装置の利用範囲は拡大しており、著しいイノベーションを引き起こしている。医用画像診断装置の技術開発により低侵襲化、従来視覚化困難であった部位や現象の画像化が可能になりつつあり、そこから新たな治療が生まれる可能性がある。これらの技術開発には医工連携すなわち病院、大学、企業との連携体制の構築が必要であるが、米国における産学連携の仕組みや組織と比較すると本邦ではまだまだ発展の余地が多いと言える。病院における医療現場のニーズを企業が保有している技術開発力や大学の基礎医学研究能力に結び付けながら、常に新しい高度医療技術の開発に取り組んでゆくことが、病院に付属する本研究室の最も重要な役割である。平成 24 年度より循環器系研究室員を配置し、医用画像診断装置の技術開発を大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻機能診断科学講座とともに推進している。平成 27 年度は、院内臨床症例（特に心房細動症例、心不全症例）の心臓超音波画像解析も並行して推進してゆく。また、今後は大阪大学医学部心エコーラボ、大阪大学医学部基礎研究チーム、大阪警察病院との連携による新たな研究体制構築を予定している。

【2014 年度研究発表業績】

A-0

Shinouchi K, Abe H, Hirooka K, Yasumura Y, Koretsune Y. A Sarcoid nodule mimicking a thrombus and obstructing intravenous cardiac resynchronization device implantation. Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2014 Nov 16. Epub ahead of print.

A-4

安部晴彦: あやうく誤診! ①「月刊心エコー; エキスパートへの道<1>ピットフォール! ピットフォール! ピットフォール!」 Vol.16No.3、P.300-302、文光堂、2015 年 3 月

B-1

Furukawa T, Abe H, Hirooka K, Inoue H, Nishida H, Yasumura K, Sakaguchi T, Shinouchi K, Miura H, Miyazaki K, Hamano G, Koide M, Yasumura Y, Koretsune Y, Kusuoka H. Higher reproducibility of tissue tracking method than conventional M-mode for the measurement of tricuspid and mitral annular plane systolic excursion. American Society of Echocardiography 25th Annual Scientific Sessions, Portland, USA (2014 年 6 月)

Sakaguchi T, Yasumura K, Nishida H, Inoue H, Furukawa T, Shinouchi K, Miura H, Miyazaki K,

Koide M, Abe H, Hirooka K, Koretsune Y, Kusuoka H, Yasumura Y. Novel method to quantify the degree of fluid accumulation and its prognostic implication in patients with acute decompensated heart failure. American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago, USA (2014年11月)

Abe H, Masuda K, Asanuma T, Koriyama H, Koretsune Y, Kusuoka H, Nakatani S. Quantitative Characteristics of Left Ventricular Vortex Flow in the Short and Long Axis Views by High Frame Rate Echocardiographic Particle Image Velocimetry. American Heart Association Scientific Sessions 2014, Chicago, USA (2014年11月)

B-4

古川哲生、安部晴彦、井上裕之、西田博毅、安村かおり、坂口大起、篠内和也、三浦弘之、宮崎宏一、濱野剛、小出雅雄、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 カラー組織ドプラ法による右室機能評価の有用性 第25回日本心エコー図学会、金沢(2014年4月)

井上裕之、安部晴彦、西田博毅、安村かおり、古川哲生、篠内和也、坂口大起、三浦弘之、安部晴彦、濱野剛、宮崎宏一、小出雅雄、廣岡慶治、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 当院で経験した急性肺動脈血栓塞栓症を発症したHIV感染症患者の臨床的特徴に関する検討 第62回日本心臓病学会学術集会、仙台(2014年9月)

安村かおり、廣岡慶治、西田博毅、井上裕之、古川哲生、坂口大起、篠内和也、三浦弘之、宮崎宏一、小出雅雄、安部晴彦、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 MRI対応スクリーン・リードを心房中隔に留置することは用ではない 第62回日本心臓病学会学術集会、仙台(2014年9月)

宮崎宏一、井上裕之、西田博毅、安村かおり、古川哲生、坂口大起、篠内和也、三浦弘之、小出雅雄、安部晴彦、廣岡慶治、是恒之宏、楠岡英雄、安村良男 胸腔内に腎臓が・・・？「普段あまり気に留めない心エコー像」 第62回日本心臓病学会学術集会、仙台(2014年9月)

篠内和也、坂口大起、井上裕之、西田博毅、安村かおり、古川哲生、三浦弘之、宮崎宏一、小出雅雄、安部晴彦、廣岡慶治、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 トルバプタンによるDecongestion様式の予測因子の検討 第62回日本心臓病学会学術集会、仙台(2014年9月)

小出雅雄、井上裕之、西田博毅、安村かおり、古川哲生、篠内和也、坂口大起、三浦弘之、宮崎宏一、安部晴彦、廣岡慶治、是恒之宏、楠岡英雄、安村良男 Carperitide 減量・

中止にて血行動態の悪化をきたす症例の検討 第 62 回日本心臓病学会学術集会、仙台
(2014 年 9 月)

坂口大起、安村かおり、西田博毅、井上裕之、古川哲生、篠内和也、三浦弘之、宮崎宏一、小出雅雄、安部晴彦、廣岡慶治、是恒之宏、楠岡英雄、安村良男 トルバプタンによる decongestion の経過と神経体液性因子との関係 第 62 回日本心臓病学会学術集会、仙台 (2014 年 9 月)

安村かおり、古川哲生、安部晴彦、廣岡慶治、井上裕之、西田博毅、坂口大起、篠内和也、三浦弘之、宮崎宏一、小出雅雄、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 右室機能評価において組織トラッキング法は M モードに比して高い再現性を有する 第 26 回日本心エコー学会学術集会、小倉 (2015 年 3 月)

B-6

篠内和也、井上裕之、西田博毅、安村かおり、古川哲生、坂口大起、三浦弘之、宮崎宏一、濱野剛、小出雅雄、安部晴彦、廣岡慶治、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 ステロイドが有効であった難治性冠攣縮性狭心症の一例 第 117 回日本循環器学会近畿地方会、大阪 (2014 年 7 月)

宮崎宏一、井上裕之、西田博毅、安村かおり、古川哲生、坂口大起、篠内和也、三浦弘之、濱野剛、小出雅雄、安部晴彦、廣岡慶治、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 エプレレノンにより著明に左室機能が改善した大動脈弁閉鎖不全症の 2 例 第 117 回日本循環器学会近畿地方会、大阪 (2014 年 7 月)

西田博毅、井上裕之、安村かおり、古川哲生、坂口大起、篠内和也、三浦弘之、宮崎宏一、濱野剛、小出雅雄、安部晴彦、廣岡慶治、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 ステロイド単独でコントロールし得た巨細胞性心筋炎の一例 第 117 回日本循環器学会近畿地方会、大阪 (2014 年 7 月)

安村かおり、安部晴彦、廣岡慶治、古川哲生、三浦弘之、宮崎宏一、小出雅雄、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 急性冠症候群の疑いで入院しその後人工弁感染性心内膜炎で外科治療を要した一例 日本超音波医学会第 41 回関西地方会学術集会、京都 (2014 年 11 月)

井上裕之、安部晴彦、西田博毅、安村かおり、古川哲生、篠内和也、坂口大起、三浦弘之、安部晴彦、濱野剛、宮崎宏一、小出雅雄、廣岡慶治、安村良男、是恒之宏、楠岡英雄 急性肺水腫を契機に診断に至った褐色細胞腫の一例 第 118 回日本循環器学会近畿

地方会、大阪（2014年11月）